

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0401

		令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)		
事業名	スポーツ産業の国際展開促進事業			担当部局庁	スポーツ庁		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)付	作成責任者 参事官(国際担当) 八木 和広	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第18条及び第19条			関係する計画、通知等	成長戦略フォローアップ(令和2年7月17日) スポーツ国際戦略(平成30年9月6日) 第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-4 スポーツを通じた社会課題の解決						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-36.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	本事業は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした我が国に対する世界からの関心の高まりを捉え、我が国で創出された財・サービスを拡大する世界のスポーツ市場への展開につなげることで、我が国のスポーツ産業の成長を加速させることを目的とする。海外へ展開を進め、その市場の拡大で得た収益を日本のスポーツ環境の改善等に還元するほか、海外展開に端を発したスポーツを通じた国際交流の促進を通じ、我が国の国際的な位置づけを高める。						
現状・課題(5行程度以内)	政府の「日本再興戦略2016」では、スポーツ産業を2025年までに15.2兆円まで成長させる目標が設定された。また、「未来投資戦略2018」では日本が新たに講ずべき具体策として、「スポーツ産業の未来開拓」が記載され、その重要施策の一つに「スポーツの国際展開の推進」が掲げられた。今後、日本のスポーツ産業を成長させていくに当たっては、少子高齢化が進み人口減少傾向となる日本国内の市場にとどまらず、ASEANをはじめとする将来有望と見込まれる海外成長市場を見据えた取り組みが必要だが、一方で、各国の情報および海外スポーツ情報の不足、海外における事業継続の困難性、国際スポーツ人材不足など課題があり、国際展開に踏み出せない企業・団体が多い現状がある。						
事業概要(5行程度以内)	①国内外でのスポーツ産業に関する調査研究成果を活用し、スポーツ市場の成長が見込めるASEAN地域や、五輪を控える欧州を対象に、国際的な有力展示会や商談会等の展開支援を行い、現地ニーズと我が国の財・サービスのマッチング実現を図る。②国際的なスポーツビジネス分野に先進的な国際会合への我が国の有望な若手人材の参加を支援することにより、国際的なスポーツビジネスリーダー等とのネットワーク形成等を通じて、中長期的観点から我が国のスポーツビジネスのイノベーションの促進につなげる。また、国際人材が日本と世界を繋げるハブの役割を担うことにより、企業の海外進出の支援の一環とする。③国内における情報提供セミナーを開催し、上記の内容も含めて関心のある国内企業やスポーツ団体等に対して情報提供を行うことにより、新たな気づきの場を提供し、スポーツ産業の国際展開の裾野拡大を図る。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop08/list/1372060_00001.htm						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	40	30	43	43
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	7	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	40	37	43	43
		執行額(G)	0	40	37	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	100%	100%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	100%	123%	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			要望額については、令和6年度についても、令和5年度同様、国際スポーツビジネス会議出展支援、人材等ネットワーク形成支援、戦略的プラットフォーム運営を同規模で実施するため。		
	(目)	スポーツ振興事業委託費	43	43			
		その他	0	0			
	計(A)	43	43				

活動内容① (アクティビティ)	国際展開を希望するスポーツ産業の企業・団体に対する国際的な有力展示会や商談会への出展支援									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	国際展示会にジャパンブースを1回は設置し、国際展開を希望するスポーツ企業・団体の出展を支援する。	国際展示会への出展回数もしくは代替となるオンライン商談会を開催した回数。	活動実績 当初見込み	回 回	- -	1 1	1 1	- 2	- 2	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際展示会におけるジャパンブースもしくはオンライン商談会への参加の機会を提供することによって、スポーツ関連企業や団体の国際展開の足掛かりとなる場を創出し、国際ビジネスにつなげるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
	国際的な有力展示会もしくは代替となるオンライン商談会に参加する企業数を増やす。	国際的な有力展示会やオンライン商談会に向けて支援した企業数。	成果実績	社	-	29	26	-		
			目標値	社	-	20	30	35		
達成度	%	-	145	86.7	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業の事業計画書及び事業完了報告書等 ※令和3年度、4年度とも、コロナ禍の影響もあり、出展を予定していたASEAN地域でのスポーツ産業展が中止となったため、代替としてオンライン商談会を実施した。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	展示会に参加した、もしくはオンライン商談会に参加するなど、本事業の支援を受けた企業や団体が、実際に海外展開を行うことで、スポーツ産業の拡大に寄与するため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度		
	令和7年度までに25件のスポーツ産業の国際展開に資する企業・団体の取組を創出する。	R3年度から当事業によってスポーツ産業の国際展開(事業提携模索、海外での事業創出、会社設立等)の取組を実行した企業・団体数	成果実績	数	-	0	5	-		
			目標値	数	-	20	20	20		
達成度	%	-	0	25	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	本事業の事業計画書及び事業完了報告書等									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)		国際スポーツビジネス会議等への人材派遣								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		国際的なスポーツ界と深いネットワークを持った人材を創出するため、選考によって選ばれた5名を国際ビジネス会議に派遣する。	国際スポーツビジネス会議などに人材派遣した人数	活動実績	人	-	5	5	-	-
				当初見込み	人	-	5	5	5	5
↓		国際スポーツ会議に派遣した人材が、会議や国際ネットワークの中で学んだことを、日本のスポーツ産業に還元する機会につなげるため。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		国際スポーツビジネス会議に派遣した人材からの知見を得る場を創出する。	国際スポーツビジネス会議への派遣者が発表した場の数。	成果実績	回	-	1	2	-	
				目標値	回	-	1	1	2	
				達成度	%	-	100	200	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		本事業の事業計画書及び事業完了報告書等								
↓		国際スポーツ会議に派遣した人材が、国際ネットワークを構築し、日本のスポーツ産業に対する海外の情報発信および海外に向けた日本のスポーツ産業の情報発信に寄与し、日本のスポーツ産業の世界におけるプレゼンスを高めるため。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7 年度	
		令和7年度までに10人の国際的なスポーツビジネス分野の国際会合やセミナーの講演者を創出する。	海外から認められた国際的なスポーツビジネスリーダーの人数。	成果実績	人	-	1	3	-	
				目標値	人	-	1	5	10	
				達成度	%	-	100	60	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		本事業の事業計画書及び事業完了報告書等								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

事業所管部局による点検・改善														
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①について、短期アウトカムが未達成であった理由は、年度末に開催し、オンライン商談会に対する需要が低かったことが挙げられる。長期アウトカムについては、コロナ禍の影響が残り企業の事業展開が進まなかったと推察される。 ・アクティビティ②について、短期アウトカムが未達成であった理由は、会場の設備の都合で当日のオンライン配信が行えず、人数が限定された。長期アウトカムについてはアクティビティ①と同様。 ・アクティビティ③について、短期アウトカムについては、派遣者の一人が積極的に活動発表の場を作り出したことにより達成となった。長期アウトカムについては、派遣者の累計が10人と分母が想定より小さくなったことにより、未達成となった。 ・令和4年度の執行率は100%と予算を活用できている。 										目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)			
											-□			
改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティ①の短期アウトカムについては、効果が出やすい時期や規模に合わせた支援形態を準備する。長期アウトカムについては、継続した情報提供や支援を通じて拡大を図る。 ・アクティビティ②については、オンラインの参加を促すよう、会場設備の確認に加え、会場参加者自体も増やせる内容を検討する。 ・アクティビティ③については、1年に5人を派遣するうち、毎年2人が活躍すると想定して目標を見直し、また実際に活躍の場を作り出すよう支援を行う。 													
外部有識者の所見														
外部有識者による点検対象外														
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見														
事業内容の一部改善	この事業は、一者応札・応募となった契約があることから、原因を分析し、引き続き競争参加条件等の見直しを図るなど具体的かつ実効性のある取組を行い、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。													
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況														
執行等改善	本事業で想定される応募企業等にヒアリングを行い、事業内容を整理し、委託内容を一部変更したほか、公募時期を早め十分な公募期間を確保した。結果、令和5年度は複数者の応募があった。													
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ													
	-													
	上記への対応状況													
	-													
	その他の指摘事項													
	<p>事業目的、事業概要において、スポーツ産業の海外進出が我が国のスポーツ振興に直結するものか丁寧な説明が必要である。また、支出先の選定については、競争性の確保に向け検証等が行われているものの、今後の対策について一層の工夫が必要である。</p>													
上記への対応状況														
<p>スポーツ産業の海外進出が我が国のスポーツ振興につながるのかについては、丁寧な説明を行うよう記載方法を見直した。また、支出先の選定に当たっては、公募内容を効率的に事業が進められるように見直すと同時に、十分な公告期間を確保した企画競争により、妥当性、競争性を確保した。</p>														
備考														
<p>スポーツ国際戦略について：https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/001_index/bunkabukai003/gaiyou/1408957.htm スポーツ立国戦略について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm 第3期スポーツ基本計画について：https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00001.htm</p>														
関連する過去のレビューシートの事業番号														
平成23年度														
平成24年度														
平成25年度														
平成26年度														
平成27年度														
平成28年度														
平成29年度														
平成30年度														
令和元年度	文部科学省	-												
令和2年度	文部科学省		新03		0024									
令和3年度	2021	文科		新21		0013								
令和4年度	2022	文科		21		0347								

※令和4年度実績を記入。なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
37百万円

東京オリンピック・パラリンピック競技大会等のホスト国である我が国に対する世界からの関心の高まりを千載一遇の好機として捉え、我が国で創出された財・サービスを拡大する世界のスポーツ市場への展開につなげることで、我が国のスポーツ産業の成長を加速させる。

委託【随意契約(企画競争)】

A. 株式会社JTB
15百万円
(全1件)

国際スポーツビジネス会議
出展支援

委託【随意契約(企画競争)】

B. 株式会社
野村総合研究所
22百万円
(全1件)

国際展開促進支援事務局
の形成・人材等ネットワーク
形成支援

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者について 記載する。費目と使途の双方で 実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	オンライン商談会関連費、(JTB (Thailand) Ltd.) PR関連費 (JTB (Thailand) Ltd、プラ ポークス株式会社、株式会社スポーツシンクタンク、HALF TIME株式会社)	9	人件費	職員人件費	14	
人件費	職員人件費	2	雑役務費	HP運営 (HALF TIME株式会社) 及び人材派遣関連費 (HALF TIME株式会社、一 般社団法人 Sports X Initiative)	6	
一般管理費	一般管理費	1	消費税相当額	人件費分の消費税相当額	1	
消費税相当額	人件費および海外法人への雑役務費分の消費税相当額	1	諸謝金	セミナーの講演費	0.1	
借損料等	セミナー用会場費等	0.6				
計		13.6	計		21.1	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社JTB	8010701012863	国際スポーツビジネス会議出 展支援	14	随意契約 (企画競争)	1	100%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	国際展開促進支援事務局の形成・人 材等ネットワーク形成支援	21	随意契約 (企画競争)	2	100%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック